

三浦外洋セーリングクラブ 理事会議事録

開催日 :2024年5月14日(水)18:30~19:10

場所 :新橋駅前ビル1号館6階605号ダ・ヴィンチ大会議室 + Zoom ミーティング

出席者 :

理事:荒嶋、飯島、五十嵐、石原、臼田、内倉、尾山、加藤、北川、坂口、鈴木、高木

Zoom:小川、菅野、最川

顧問:平松(敬称略)

尾山理事の進行により、会議開始時点での参加人数(理事18人中10名出席)が定則を満たしていることから理事会の成立が確認され、飯島会長の挨拶があり、議事録作成に加藤理事、議事録署名に高木理事を指名して下記議案につき審議した。

<審議事項>

1. 次回9月までの間のレース・イベントの確認

荒嶋レース委員長より9月の理事会までに予定されているレース・イベントの報告があった。

5月10日ショートハンドチャレンジ123は荒天の為中止。

6月8日 湘南レース 上下コース2レース(秋谷沖)

7月13日 湘南レース 秋谷沖スタート⇒江の島沖マーク往復

7月20日相模湾オープンヨットレース 平松顧問よりMOSCに協力を要請されレース委員長に荒嶋レース委員長が就任、他のメンバーにも運営の協力要請があった。KFRと日程が重なる為合同開催を協議中と報告があった。

8月2日 第17回静岡県知事杯石廊崎レース

8月3日 Trans-Sagami Yacht Race2025

8月11日 湘南レース 上下コース2レース(秋谷沖)

9月14日 湘南レース 秋谷沖スタート⇒南西沖ブイ往復

<報告事項>

1. 3月15日安全&ルールセミナーについて

高木安全委員長より報告があった。午前中が安全セミナー佐俣夫妻による落水救助体験談と対策講習、午後はナショナルアンパイアの渡辺氏によるルール解説とケーススタディー。参加人数は昨年の18人から33人と大幅に増えた。スタッフ人数を合わせると40人。これ以上増えるとAoraでの開催は難しくなる。予算は3万円。三崎と合同なので1万5千円の出費となった。

2. 3月30日関東4団体主催レースオフィサー、B級ジャッジの更新講習会について

五十嵐ルール委員長よりルールについては2025年から変わった部分、定義が明確になった。AISはレース中ONにしておかなければならないなど選手に優しい公平になるような改正が行われた。資料は膨大な量がある為希望者にはファイルをお送りしますと報告があった。

3. 4月26日スタートの小笠原レースの結果報告

坂口事務局長より6艇が参加し全艇フィニッシュ。10ノット平均で走りスピードレースとなった。怪我人は1名船内で転倒。通信機器の進化でロールコールは安定していた。レースに参加した高木理事より前回との違いは小笠原島民との交流が多く体験乗船は授業の一環として乗船する学校もあり楽しんで頂けたと報告があった。今回MOSCは協力参加ではあったが、父島には五十嵐理事、通信航跡チェックは坂口理事、スタートは荒嶋理事と飯島会長、観覧艇に小網代フリートからサガミが参加。坂口理事はインフレーターブルボートで運営と、三浦、湘南の協力体制の中MOSCの協力は充実していたと飯島会長から報告があった。小笠原でフィニッシュを担当した五十嵐理事より気づいた点の報告があった。フィニッシュ後自走できなかった艇が6艇中3艇いた。2艇はギアが入らず、1艇はペラ脱落。漁船をチャーターしていたので曳航はできたが今後の注意点であると指摘があった。

4. 慶弔関連のご報告

飯島会長より MOSC には慶弔に関連するルールがないので作ってはどうかと提案があった。過去の事例をもとに総務委員会で話し合い草案を作成し 9 月の理事会に提出する方向で進めることを確認した。

5. みさきヨットの件

石原通信委員長より 4 月 20 日神奈川県土木課と 2 回目の小網代湾にかかる橋脚説明を受けた。進捗状況は湾の中に橋脚を立てると漁船の出入りの障害となるので立てない方向でやり直し、設計は振出しに戻り道路はできるが橋が架かるのは 20 年後くらい先になるだろうとのこと。みさきヨットの電波障害の件については再度確認を受けた。

継続審議となっている「会員数の減少対策」については 9 月以降改めて審議していくことを確認した。

以上で本日の議事をすべて終了し、19 時 10 分に理事会を閉会した。

以上

2025 年 月 日

議事録署名人